

平成27年度



みやぎ小学生 いじめ問題を考えるフォーラム

宮城県教育庁義務教育課

大きな社会問題となっているいじめ問題について、小学生が学校の枠を越えて話し合い、その根絶のために自分たちができることを考える「みやぎ小学生いじめ問題を考えるフォーラム」を開催しました。

平成24年度に始まり、4回目*となった今回は、県内各地（仙台市を除く）70の小学校から、140名の小学生が参加して、児童会等が主体となったいじめ未然防止の具体策について話し合い、ポスターにまとめて発表しました。

- **日時** 平成27年8月10日（月）9:45～15:00
- **場所** 県庁2階講堂
- **参加者** 県内公立小学校児童140名（仙台市を除く）、引率教員等73名 一般31名
- **講師** ファシリテーター：A L L東北教育フェスタ（大学生・大学院生）27名
- **内容（概要）**

(1) 開会行事

○ 教育長挨拶



高橋 仁 県教育長が「今回の集まりをきっかけにして、各学校でいじめ根絶に向けた取組を進めてください。」と挨拶しました。

○ 知事メッセージ



村井知事から、県内の全小学生に向けたビデオメッセージをいただきました。

○ 教育委員会メッセージ



庄子晃子教育委員会委員長が、「宮城県教育委員会メッセージ」を発表しました。

○ ファシリテーターの紹介



ワークショップのお世話をしてくださったファシリテーターの方々を紹介しました。

今回もファシリテーターとして子どもたちの話し合いをサポートしてくださったのは、A L L東北教育フェスタに参加している県内外の大学生・大学院生のみなさんです。代表の堀川彩佳さん（東北福祉大学3年）が「いじめのない学校にするための取組について、一緒に話し合いましょう。」と挨拶しました。

* 第1回は平成25年2月に小学生を対象に、第2回は平成25年8月に小学生を対象に、第3回は平成26年7月に中学生を対象に開催しています。

○ 主催者紹介



県教育委員会からは、庄司晃子委員長をはじめ、佐竹えり子委員長職務代行委員、伊藤 均委員長職務代行委員、遠藤雄三委員、奈須野毅委員、高橋仁教育長が参加したほか、西村晃一教育次長、鈴木洋教育次長、桂島晃義務教育課長等が参加しました。教育委員一人一人から、子どもたちに温かい励ましの言葉が贈られました。

(2) ワークショップ I



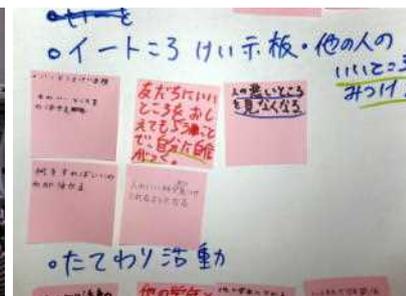
★ 学校のいじめ未然防止の取組を紹介しました

班ごとに自己紹介を終えると、ファシリテーターの合図で、ワークショップ I が始まりました。ワークショップ I は、参加した子どもたちが学校で取り組んでいることを互いに発表し合うところから始まりました。子どもたちは、学校で事前に作成してきたポスターを示しながら、各グループの仲間に自分の学校の「いじめ未然防止のアイデア」を紹介していました。



★ 班として取り組んでみたいアイデアについて話し合いました

各発表の中から、「自分の学校でも取り組んでみたい取組」について、「どんな効果があるか」「課題は何か」「その課題を克服するためにどんな工夫をすればいいか」を論点にして話し合いました。話し合いの進め方は、それぞれです。ファシリテーターのリードですぐに話し合いを始める班、まずは付箋にそれぞれの考えを書き出している班、……どの子も真剣に考えていました。



平成27年度

みやぎ小・中学生いじめゼロCMコンクール表彰式

ビデオCMという様々な表現が可能な媒体を通して、いじめ根絶の重要性をより多くの小・中学生に伝えるとともに、一般の人々にも広く周知すること、更には、ビデオCMづくりを通して、より深いいじめ問題について考えさせることを目的に、今年度初めて実施した「みやぎ小中学生いじめゼロCMコンクール」の表彰式と優秀作品の発表会を行いました。

表彰式には最優秀賞に輝いた石巻市立山下中学校の生徒健全育成ボランティア「シリウス」の代表として、3年生の伊藤大喜君と小松隆先生、優秀賞の岩沼市立岩沼小学校から児童会代表の6年高橋綾佳さんと北沢直樹先生、岩沼市立岩沼北中学校の生徒会代表の3年佐藤結菜さんと白鳥修教頭先生が参加し、高橋教育長からそれぞれ賞状を受け取りました。

受賞作品の上映の後には、苦心した制作の様子や作品に込めた思いを発表し、会場から大きな拍手をいただいていたいました。



中学生が作った作品を観た小学生は、「テレビで見る本当のコマーシャルみたいでした。」「こういうCMをテレビで流せば、いじめがなくなると思います。」などと感想を述べ、来年は自分も作品を作りたいと意欲を高めていました。

(3) ワークショップⅡ

はじめに、司会のファシリテーターがワークショップⅡの説明をしました。

- ① 学校と児童会の名前を決める。
- ② どんな学校にしたいかについて話し合う。
- ③ ②のような学校にするために、どんな取組をすればいいかについて話し合う。

👉 どんな学校にしたいかについて話し合いました

「ぼくは、みんなが仲良しな学校にしたいので、仲よし学校いじめなし児童会がいいと思います。□□さんはどう思う？」

「私は、みんなが元気に楽しく通える小学校にしたいので、元気小学校ニコニコ児童会がいいと思います。」

子供たちにとっての理想の学校が、学校の名前になって表れていました。なかには、「こしょう小学校つまようじ児童会」というユニークなものまで。



👉 ポスターづくり

短い時間でポスターを完成させるのは大変。しかし、ファシリテーターの助言をいただきながら、全員で分担して、班ごとのアイデアをポスターに表していました。





ポスターセッション

5～6人の班を3つの分けて、発表係と聞き手に分かれ1回5分×3回のポスターセッションを行いました。全員が1度は発表者になるため、ちょっと緊張気味の子もいましたが、1回のセッションが終わると、自分のグループに戻って、楽しそうに報告と振り返りを行っていました。



(4) ワークショップⅢ

ワークショップⅢは発表会です。22班全てが、ステージに上がって自分たちのアイデアを発表しました。1分以内という厳しい条件の下でしたが、どの班も堂々と発表していました。



(5) 閉会行事

① 感想発表

今回のフォーラムを振り返って、代表の千葉雄斗さん（大崎市立田尻小学校）と渋谷くるみさん（東松島市立赤井小学校）が感想を発表しました。緊張しながらも、いじめのない学校をつくるために取り組んでいきたいことを堂々と発表することができました。

② 先輩からのメッセージ

宮城県出身の著名人として、フィギュアスケート選手・金メダリストの羽生結弦さんとA K B 48 Aチーム所属の岩田華怜さんから、宮城県内全ての小中学生へのメッセージが上映されました。

羽生さんと岩田さんの生の言葉は、会場の子どもの心にしっかりとしみ込んだようでした。子どもたちの表情には、お二人の励ましをパワーに変えて、いじめのない学校づくりに取り組んでいこうという決意が表れていたように見えました。

